

あなたの思いや足あとを

「自分マガジン」 として残しませんか?

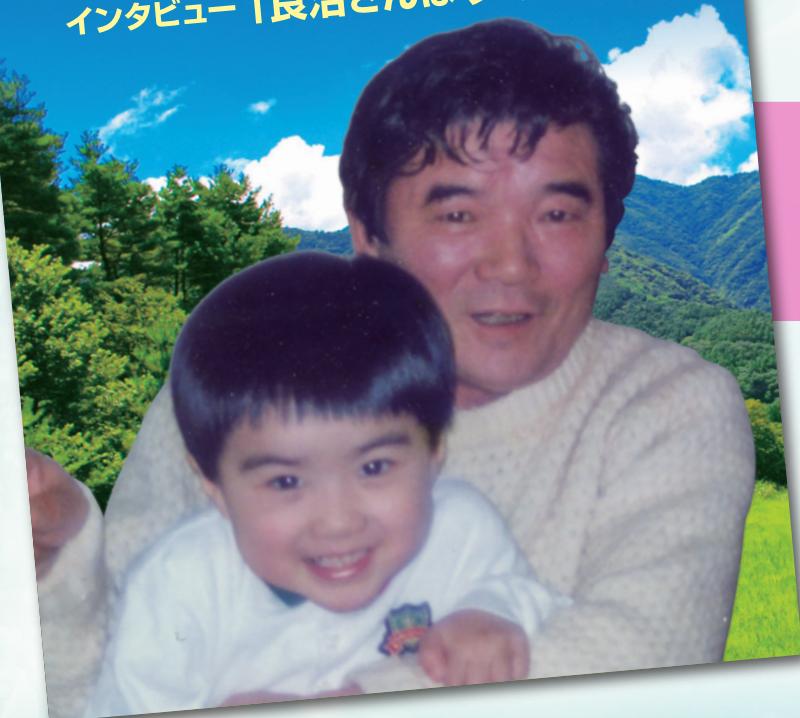
あの日
あの時

- ◆ 心に残る **あの場面**
- ♥ 話してなかった **あの思い**
- ♣ 心に決めた **あの瞬間**
- ♠ 共に歩んだ **の人達**

成田 良治

THE RYOUJI NARITA
人物紹介 成田良治のすべて
「成田良治として生きてきて」
インタビュー「良治さんは今!」

創刊号



「自分マガジン」 を多くの方に

- ◆ 子ども達そして家族に
- ◆ 会社の皆さんに
- ◆ 還暦や米寿等の記念に
- ◆ 退職の記念に
- ◆ お祝いの記念に

お世話になったあの方へ
「○○さんマガジン」
を贈りませんか?

- ♥ 子から親へ
「親のマガジン」
- ♥ 退職される方へ
- ♥ 還暦や米寿等の方へ
- ♥ 上司の方へ
- ♥ お祝いの方へ

お問い合わせ先



株式会社 アスク マガジン編集部 0178-46-1120

「自分マガジン」

個人編のサブタイトル例

- ♠わたしの記念誌
- ♠○○○として生きてきて
- ♠想い出の記録
- ♠わたしの記憶
- ♠あなたへ
- ♠感謝を込めて
- ♠出逢いと別れ
- ♠私たちの絆
- ♠我が家への記録
- ♠一期一会
- ♠まだまだ現役
- ♠青春謳歌
- ♠あなたの中の私
- ♠私の中のあなた
- ♠人生という名の
マラソンを走って



経営者編の内容例

- ♣起業したきっかけ
- ♣社長になったきっかけ
- ♣会社への思い、期待
- ♣ピンチをどう切り抜けたか
- ♣経営者としての
喜び・やりがい
- ♣スタッフに贈る言葉
- ♣これからの夢
- ♣これからの起業者・
社長へのアドバイス
- ♣会社のPR

成田良治として生きてきて

『THE 成田良治』創刊号の発刊にあたり、八戸市にあるご自宅を訪ねました。野菜運びを手伝った小学生の頃に興味を持ち、退職後にも様々な野菜作りに取り組んできた成田氏。特に子供の頃に両親がやっていたニンニク作りへの興味は尽きないと話す。最近は黒ニンニクによる健康への关心が高まっているようである。

今は朝早くから畑に出かけ、野菜作りに精を出す成田氏の人生に、今迫る一



■遊び采けた幼少期
私がいることが判明した。
ものが心いた頃に、私は年子の
頭脳明晰・容姿端麗・見目麗し



■10時間を超える難産

昭和28年8月25日、午後3時
15分。父良夫 母治子の次男と
してこの世に生まれ受けた。
當時には珍しい3.500kgの丈
夫な赤坊だったらしく、10時間以
上かかりた難産だったとのこと。妊
娠中の母があまり動かさず栄養を
取りすぎたことが原因らしく、難
産は私のせいだな?ことが判明。

産は私のせいだな?ことが判明。
「あまり時間がかかるので、途中であ
ぎでまたじや」と。
と詰す母の言葉に、私がいかに皆の
期待(?)を背負って生まれてきた
のかが垣間見える。

産後の半年は、母の実家である
大鷲町で温泉に浸かつて過ごすこ
とに。

そんな中、東映の時代劇映
真似をして、買ってもらった
ちやの刀で切り合う「刀ごう
は」機敏さ・フェイント・忍び足
方、大声による威嚇、そして
の攻防の激しさ等々これが
ある。社会生活における
不可欠な要素が、みんなに
められており、飽きることな
遊んだものだった。

き存在である兄に憧れ、いつもそ
の姿を追いかけ真似をしていた
母も双子のように二人に同じ
を与えていたので、遠目には双子
をくわくわさせて遊んでいたもの
いる。母は双子のようによく見えた
め、双子のようだと周りの人間に言
れ、鼻高々だったことを今も覚え